

「返事」をしよう

幸せを手に入れている人は常に「返事」を大切にします。返事をする人で、モテない人はいません。人から愛される人は、上手にすばやく返事ができる人であり、返事をすることで人との関係を深めていきます。例えばあいさつです。あいさつをされたら、必ずあいさつを返すことのできる人が、幸せになれる人です。無視はせずに、せっかく声をかけてくれたのだから、その気持ちに応えるようにしないと、いつまでたっても幸せも通りすぎてしまうのです。あいさつだけではありません。手紙の返事、メールの返事、コミュニケーションのキャッチボールなど、常に「返していくこと」を基にコミュニケーションの量を増やしていくことです。

返事をすることでどうしてそれが幸せにつながるかというと、自然にコミュニケーションの量を増やしていく手段だからです。まったくの1から始めるのではなく、返事をすることで会話の量を増やします。そうすることでだんだんと仲よくなっていき、関係がよくなっていくのです。これが幸せになる近道になるのです。



素直になろう

幸せな人には「素直」が習慣としてあります。何事も率直でストレートに表現し、素直になります。難しい言い回しや遠まわしな表現のほうがいいかと思われませんが、逆に誤解を招きやすくなります。経営の神様と言われる今は亡き松下幸之助氏（松下電器の創業者）は、素直になることが経営では大切な要素のひとつだと言っています。

「表現を遠まわしにしたり、話をにごしたりすると、コミュニケーションがスムーズにいかず、余計に話がややこしくなる。素直な心になってお客さまと接することで、心が伝わりやすくなる。」

このように素直な心の大切さを述べています。変に裏のあるやり取りは、人との信頼関係に悪影響を及ぼしてしまいます。ですから心を開けた状態にしておかないと、本当の心あるやり取りはできないのです。



< 引用 <http://www.happylifestyle.com/> >